



## アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.17 / 2007年7月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第17号をお届けします。

今回は、AP研の表彰制度、および、先月の研究会(6月、機械振興会館)において実施しました2006年度表彰式についてお知らせいたします。

### 【1】AP研の表彰制度について

昨年6月のアンテナ・伝播研究専門委員会において、AP研に係わる研究会活動に対して表彰を行うことが認められました。これは、40周年記念事業を検討する過程において、AP研のさらなる活性化と若手研究者の激励のためにAP研独自の賞を設けてはどうか、という提案があり実現したものです。AP研独自の賞としては、1997-1999年の3年間、毎年12月の研究会をフレッシュマンセッションとして開催、顧問の先生方に審査員になっていただき、優秀な発表をした若手研究者を表彰するという制度がありました。3年間でこの制度は廃止されてしまいましたが、この間に受賞された方たちの多くは現在もAP研で活躍されており、この制度自体は意義があったものと思います。受賞者についてはAP研のホームページに掲載されています。見つけにくいですが、探してみてください。

さて、AP研の新しい表彰制度ですが、表彰の内容は以下のとおりです。

奨励賞：毎月開催されるAP研究会等発表の場において優れた論文を発表した若手研究者に対し、半年毎に授与します。奨励賞には、以下に示す若手奨励賞と学生奨励賞の2種類があります。

- ・若手奨励賞：博士後期課程の学生および社会人で32歳程度までを対象とします。
- ・学生奨励賞：学部および修士課程の学生を対象とします。

最多発表賞：AP研究会において、1年間に最も多く発表した登壇者に授与します。こちらは年齢を問いません。皆様にチャンスがありますので、是非、チャレンジしてみてください。

功労賞：AP研の活動に大きく寄与していただいた方、具体的には、退任した執行部、各種委員会の委員長・幹事を対象とします。名誉だけで、賞金はありません。

### 【2】2006年度AP研表彰式

6月AP研究会終了後、下記のように、2006年度、および、2006年度下期の表彰式がありました。受賞された方、おめでとうございます。今後のご活躍を期待しています。

- ・日時：2007年6月21日(木) 15:15 - 15:45
- ・場所：機械振興会館地下3階2号室
- ・受賞者：2006年度下期若手奨励賞  
木村 泰子(ドコモ), 工藤 理一(NTT)  
: 2006年度下期学生奨励賞  
池田 宇宙(名工大), 園田 修平(横浜国大)  
: 2006年度最多発表賞(今回は4回が最多で、対象者が2名いらっしゃいました)

飯草 恭一 (NICT), 山口 良 (ドコモ)  
: 2006 年度功労賞  
多数 (15 名) のため, 省略



唐沢表彰委員長      園田氏      飯草氏      山口氏      堀 AP 研委員長  
池田氏      木村氏      工藤氏

### 【3】AP 研副委員長の戯言

6 月の AP 研の前の週にホノルル (米国) で開催された 2007 IEEE AP-S International Symposium に出席しました。2003 年にはこの会議の予行演習の位置付けで, IEEE Topical Conference (Tropical ではありません) が同じ会場で開催され, その時には発表者と座長しかいないセッションがいくつか見受けられました (皆さん, どこに行ったのでしょうか) が, 今回は多くの方が会場で聴講されていました。AP-S としては初めて, 朝食と昼食とを無料で提供したからでしょうか。この方式は ISAP のノウハウ (食事を提供することによって会場に人を集め, エスケープする人を阻止する) だったのですが.....ちなみに ISAP では, 毎日のセッション終了後, ビールやワインのサービスも行っていきます。来月は ISAP 開催のため, AP 研究会はお休みです。新潟でお会いしましょう。



< 問合せ先 >

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋 (三菱電機)

E-mail : ap\_ac-chair@mail.ieice.org